



# おさなご

## 諸聖徒ひろば ①

毎年3月の諸聖徒ひろばでは、もうすぐ卒園するひまわり組の保護者さんにお子さんの園での思い出などを書いてもらっています。原稿を読んでいると、子育ては大変な事も多いですが子どもの日々の成長を感じ、子どもの声や気づきを一緒に楽しんでいる様子に、心が温かくなり子育てっていいな～と思いました。入園からこれまで、大切なお子さんを私たちに託して下さいありがとうございます。



✳️入園当初は人見知りで泣くことも多かったですが、今では仲の良いお友達も作り、しっかり者で母の手伝いも上手なお姉ちゃんに成長してくれました。コロナ禍で大変な時期もありましたが運動会での女踊りや聖誕劇での独唱など、家族に感動をたくさん与えてくれ、志侑の成長に寄り添い続けてくれた園の先生には感謝しかありません。これからは園のお友達が一人もない山内小学校への入学。心配な気持ちもありますが、どんな成長を見せてくれるか楽しみです。園の先生方、6年間本当にありがとうございました。(しゅうさん・母)

✳️わかば組からお世話になり、はじめは園が変わる事の変化で調子をくずさないか心配していましたが、先生方の温かく愛のある保育のおかげで、すぐに慣れていました。いつも遅めのお迎えになってしまいますが、迎え時まで楽しく過ごしている様子を感じとれ、先生方の丁寧な関わりに感謝いっぱいです。お友達と手紙でやりとりをするようになったり、絵が上手になっていたり成長したなと感じる所は沢山ありますが、行事の中でお友達と仲良く遊んでいる姿をみると本当に楽しそうで、それが一番よかったなと感じます。残り少しの園生活ですが、最後まで楽しく過ごして欲しいです。そして、これまで兄妹で大変お世話になり、ありがとうございました。感謝です。(ゆうさん・父)



✳️聖誕劇で聖歌隊だったゆり組さんの頃、出番が終わった後に「ここなも、ひまわりさんになったらマリア様やりたい」とキラキラした目で話をしてくれました。いざ、進級して、ひまわり組さんになり聖誕劇を目前に「はにかしいから、やっぱりマリア様はいいかな」と諦めモード。後悔はしてほしくなかったので、「マリア様かっこいいなー、みたいー」と毎日言い続けていたら「やっぱりマリア様やりたい」とやる気スイッチオン。役決めの日のお迎え時、「マリア様って」と台本を見せて嬉しそうに報告してくれた表情は忘れません。それから毎日練習を頑張っていました。前日に「まちがえたらどうしよう」とネガティブ発言。でも当日は堂々と練習の成果を発揮出来て上手に演じていて感動しました。心配な娘にとって、自信がついた機会になったと思います。有言実行した娘の姿に嬉しく思います。先生方、沢山褒めて励まして、自信とやる気を与えてくれてありがとうございました。(ここなさん・母)



✳️入園式の日、初めましてのお友達や先生方がいる中、緊張していたエマを笑顔いっぱい歓迎してくれたことを覚えています。あの日の帰りには、「エマの名前、皆覚えてくれた。とてもすごいね？ビックリしたけど嬉しかった!!」と突っ込み所満載な時がありました。皆、エマが来てくれる事、楽しみにしてくれていたんだよと伝えるとニヤッとした表情が可愛かったのを覚えています。園では、こんな決まりごとがあっても、大切な事もエマがママに伝える練習をするんだよと教えてくれたり、様々な面でエマの成長を感じることができました。お泊り保育でもリアルタイムで様子を知る事ができ、先生方の配慮に感動しました。迎えた瞬間、「ゼリー作ったから食べよう」「お化け屋敷も楽しかった」と家族に話してくれました。エマが嬉しそうに話す姿を見る度、諸聖徒保育園でよかったと毎回思います。些細なことでも常に子どもファーストに対応してくれている事、子ども達のやりたいを大切にしてくださっている事が、今日までのエマを成長させてくれたと思っています。本当にありがとうございます。また、エマと仲良くしてくれたお友達にも感謝しています。いろんな事を皆で乗り越えてきた経験が今後それぞれの強みに繋がると信じています。新1年生楽しみです。(えまさん・母)

## 保育理念

本園はキリスト教精神にもとづいて、園に関わる全ての人々が、神の祝福と愛と恵みの中で幼な子を中心として、神に感謝しつつ保育をする。心身の発達と人格形成の基礎となる最も大切なこの時期に望ましい環境を整え、家庭支援と地域の関わりを重視しながら、幼子にとっての最善の保育を目指す。

## 3月の聖句 「わたしはぶどうの木 あなたがたはその枝である」

(ヨハネによる福音書 15章 5節)

先日開かれたサンビスカス沖縄サッカースクール主催の交流試合にゆり・ひまわり組の38名の子どもたちが参加しました。多くの保護者の方々が参加され一緒に声をあげて応援ができ、大変うれしかったです。これに答えているかのように真っ赤な顔になって汗を流し、相手とぶつかったり転んだりしてあきらめず泣かず最後までゴールに向かって走り続ける子どもたちの姿は、自分こそ子どもたちに励まされているのではないかと思うほどのものでした。

3月の聖句はぶどうの木と枝にされています。いくら素晴らしい枝であってもたくさんの実を結び、花を咲かせていても、幹につながってなければいつかは枯れてしまいます。わたしたちは子どもたちにおいて丈夫な幹でなければなりません。結局枝を支えるのは幹だからです。幹の健康、幹の幸せ、幹の成長、幹の状態はすぐ枝に影響を与えます。親として先生として招かれたことに感謝し、その役割を十分に果たすことができますように、成長し続ける幹になりますように祈ります。

(園長 金 汀洙)

🎀👶🌸🎀		今月の主題 ・ ねがい	🌸🎀👶🎀
クラス		ねがい	
ひかり組 0歳児	大きくなったね	<ul style="list-style-type: none"> <li>心も身体も大きくなったことを神様に感謝する</li> <li>保育者や友だちへの親しみが深くなり、安心して過ごす</li> </ul>	
あい組 1歳児	大きくなったね	<ul style="list-style-type: none"> <li>心も身体も大きくなったことを神様に感謝する</li> <li>友だちと一緒にうれしくて安心して過ごす</li> </ul>	
わかば組 2歳児	大きくなったね	<ul style="list-style-type: none"> <li>心も身体も大きくなったことを神様に感謝する</li> <li>自分でできるようになったことが増えて、自信をもって生活する</li> </ul>	
つぼみ組 3歳児	喜びいっぱい	<ul style="list-style-type: none"> <li>神様に愛され守られていることに感謝する</li> <li>心も身体も大きくなったことを喜び、進級を楽しみにする</li> </ul>	
ゆり組 4歳児	喜びいっぱい	<ul style="list-style-type: none"> <li>神様に愛され守られていることに感謝する</li> <li>進級することを喜び、新しい生活に期待をもつ (ひまわり組・幼稚園)</li> </ul>	
ひまわり組 5歳児	喜びいっぱい	<ul style="list-style-type: none"> <li>神様がいつでも一緒にいてくださるという安心感をもつ</li> <li>お互いの成長を喜び、就学に期待をもつ</li> </ul>	

3月の行事予定表

日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
3月31日 イースター					1) ひな祭り会	2) 新入園児面談
3)	4)	5) 誕生礼拝 誕生日会	6) 卒園修了式 リハーサル	7) 運動あそび	8) 避難訓練 (不審者)	9)
10)	11) 卒園修了式 リハーサル	12) 合同礼拝	13) 弁当会 お別れ遠足	14) 運動あそび	15) 第60回修了式 ひかり〜つぼみ組	16) 第60回卒園修了式
17)	18)お店屋さん ごっこ (全園児)	19) 合同礼拝 移行保育 スタート	20) 春分の日 (休園)	21) 運動あそび	22) 総合避難訓練	23) 新年度準備 午後より職員会
24)	25)	26) 合同礼拝	27)	28) 運動あそび	29)	30) 16時より入園式 会場準備



3月生まれのおともだち

わかばぐみ [3さいになります]

- 4日 くろさか グレイ はると サン
- 7日 いわた ゆきせ サン
- 17日 さきはら まお サン

つぼみぐみ [4さいになります]

- 9日 うちま かいり サン
- 31日 しまぶくろ ろみな サン
- 31日 ありはま はるき サン

ひまわり組 [6さいになります]

- 2日 みやぎ ゆう サン



お知らせ

- ☆13日(水)は弁当会です。お弁当の準備をお願いします。この日は、全園児で「沖縄こどもの国」へお別れ遠足に出かけます。
- ☆第60回卒園修了式のもち方は、下記の通りとします。  
▶修了式：ひかり組・あい組・わかば組・つぼみ組  
15日(金)10時10分～ 教会ホールにて  
※通常保育中に園児のみで式を行います ゆり組ひまわり組も参加します。  
▶卒園修了式：ゆり組・ひまわり組  
16日(土)9時15分～ 教会ホールにて  
※保護者の参加は、ゆり組の幼稚園等へ行く園児の保護者とひまわり組の保護者  
～詳しい式の案内は6日(水)に配布します～
- ☆23日(土)は、新年度に向けた保育室の環境整備やクラスの引継ぎ、確認会議などを行います。できるだけ家庭保育の協力をお願いします。登園する場合は担任へ知らせて下さい。弁当持参です。
- ☆4月1日(月)より2024度の保育がスタートします。

ひかり組(0歳児) 大前清美、稲福静香、石塚律子  
早いものでもう3月。お父さんやお母さんと離れ、不安で泣いていた頃からすっかり成長し、毎日笑顔で安心して先生や友だちと過ごせるようになりました。最近は、〇〇やってみよう！自分で！あっちに行きたい！と自分の思いを全身を使って伝えたり、身の回りの事も自分でやってみる姿が増えています。この1年でいろいろな事を見て、触って感じて、歌ったり踊ったり、好きな玩具や友だちと一緒に遊ぶこと等、子ども達の姿に毎日成長を感じ、見守ることができ嬉しく思います。1年間の保育へのご協力ご理解ありがとうございます。

あい組(1歳児) 崎原千春、浦崎永恵  
あい組で過ごすのも残り1ヶ月となりました。4月の頃は、泣いて登園していた子も今では「おはよー」と笑顔で登園できるようになりました。友だちの名前を呼んで「〇〇しよー」と自分から声をかけ一緒に遊んだり、手をつないで歩くこと喜んでます。身の回りのことも自分でやりたい！と意欲的になり、この1年で心も身体もたくましくなったと感じます。  
今月は、わかば組への進級に向けて、身の回りのことを丁寧に取り組み、大きくなったことを喜び自信につながれるようにしていきたいと思います。  
保育へのご協力ご理解ありがとうございます。



わかば組(2歳児) 藤原那々海、久保田奈々美、本愛理  
わかば組で過ごす最後の月になりました。わかば組になったばかりの頃は、いろいろな場面でまだまだ手伝いが必要だったり、言葉で自分の思いを伝えることが難しい子もいました。1年を通して、自分でできることや言葉もどんどん増え、とてもお兄ちゃんお姉ちゃんになっています。お話し上手で面白いことが大好きな子ども達と一緒に過ごし、成長を側で見守ることができ嬉しく思います。保育へのご理解ご協力ありがとうございます。  
今月後半からはつぼみ組のお部屋で過ごし、安心した気持ちで進級できるようにしたいです。

つぼみ組(3歳児) 小渡香代美、大城結華、嘉数育子  
先月は、沖縄こどもの国へ家族や園の友だちと出かけることができ、動物を見ながら楽しそうに会話を交わす子ども達の姿が見られ良かったです。ご参加ありがとうございました。毎日の出来事の中で、友だちの気持ちを考えてみたり、同じ気持ちになって嬉しくなったり関わるのがとても上手になってきて仲間意識がグッと深まっているつぼみ組さん。新しい事にもワクワク楽しく挑戦して行動する力も育ってきました。1年の成長と一緒に喜び合いながら楽しい気持ちで進級を迎えたいと思います。保護者の皆さま、保育へのご理解ご協力ありがとうございました。

ゆり組(4歳児) 仲間みどり、新垣善人  
入園・進級から1年が経とうとしています。ゆり組での生活も残すところわずかとなり、もうすぐひまわり組になるんだ！幼稚園に行くよ！とそれぞれの進む道が見えてきて期待が膨らむと同時に、緊張したり不安そうな表情を浮かべる子も見られます。そんな時には、今年1年の思い出と一緒に振り返りながら、楽しかった思い出を胸に自信をもって進級できるようサポートしていきたいです。保育へのご理解ご協力ありがとうございました。

ひまわり組(5歳児) 山城育子、新里美奈子  
保育園のリーダーとして張り切ってスタートしたひまわり組さん。いろいろな行事を通して楽しいことやみんな協力し頑張ることを経験することができました。思いのぶつかりからケンカになることもありましたが、納得するまで話し合うことで相手の思いを受け入れお互いが歩み寄りながら自然と過ごすようになりチームワークがすごくいいなと感じます。また、小さい子の世話や絵本の読み聞かせなど、誰かのために何かをしてあげることも喜び、年長さんとして心も身体もたくましく成長した一年になりました。友だちとの楽しい思い出を重ねながら卒園を迎えたいと思います。保育へのご理解、そしてたくさんのご協力ありがとうございました。

## 諸聖徒ひろば ②

❖わかば組から入園した文大。保育園の行事で一番思い出に残っているのはお泊り保育です。それまで両親意外と1日離れて過ごしたことがなかったので、大丈夫かとても不安でしたが、私の不安をよそに、目一杯楽しみ、翌日迎えに行くと、ああだった、こうだったと、しっかり報告してくれて、いつの間にこんなにたくましくなったのかと驚かされました。日々子供の成長を感じますが、それも園でたくさんの経験をさせて頂いているお陰だと感謝しています。ありがとうございます。



(ぶんたさん・母)

❖息子は、つぼみ組からの入園を機に諸聖徒のメンバーになりました。新しい場所でドキドキしている私たちを温かく迎え入れて下さいました。息子には特性があり、育児に行き詰まりを感じた事が多々ありました。息子は人に興味があり、人との関わりを苦にしない部分があります。関わってくれる先生や友達、保護者の方々、地域の皆さんが根気強く息子と関わってくれていることで息子が確かに成長していると実感しています。これからいろいろな経験をしていくと思います。ここで過ごした3年間を次のステージに活かされるようになればと感じております。ありがとう諸聖徒保育園。

(しんげんさん・父)

❖諸聖徒保育園に入園したのは1歳2か月の時、あい組から入園しました。その頃は発達遅めの結菜はまだ歩くことが出来ず、ハイハイしながら大号泣の日々。私も仕事復帰で忙しく、毎日泣いて預けるときは辛くこれで行くのかとよく自問自答していました。それが、いつの間にか歩き、走り言葉もどんどん増え成長。保育園生活にも慣れて運動会やクリスマス会、様々な保育園行事のたびに成長する姿を見るたび、母親である私のほうが感動して泣くように。

年長のこの一年は、自分の気持ちを泣かずに話すことを目標に。いつの間に、自分の意志も伝え頑固な面もありますが、たくましく育っています。運動会では「エイサーの女踊りがしたい。」クリスマス会では「天使がいい、出来ないと思ってるの?なんでこの保育園に入れたの?ママは結菜に悔しい思いをさせるためにこの保育園にいれたの?理由を説明して。」と毎日泣き叫び。無事に当日舞台上で声を出しみんなと聖誕劇に参加する姿に感動し大号泣しました。毎日練習し、みんなで作り上げた達成感は結菜にとっても大きな成長になったと思います。今では弟の面倒や一緒に遊び頑固だけ優しい子に育っています。将来は「お医者さんかアイドルになりたい」と話す姿に、あの歩けずハイハイしていた子が将来の夢を語り、4月からは一年生になるなんて不思議で実感がわきません。何をしても不安が続く日々。でもあつという間に過ぎる時間。成長に喜びを感じながらも、普段の生活の悩みも相談にのっていただき、いつも先生方の関わりに励まされ、たくさん救われました。この保育園で育ったことに感謝しています。ありがとうございました。



(ゆいなさん・母)

❖「ママ大好き」あい組さんからわかばさんの頃のるなの口ぐせでした。わかば組に進級してすぐにコロナ禍になってしまい、病院で赤ちゃんを相手にする私の職業柄、外出する事も、買い物へ出かける事ですらできず、物心つく時期にたくさん遊びに行けなかった事がとても残念に思います。コロナ禍のちょうど真ん中で妹が生まれ、外で遊びたい盛りの娘には、妹に母と父をうばわれてしまったような…そんな思いをさせていなかったかと思ってました。おてんばで自分の思った通りにしたい性格なので、日々たくさん失敗もしますが、とてもピュアで優しく感動屋さんです。保育園では、先生達に頼られる程しっかり者でいつも先頭を歩いています。家では一番の甘えん坊です。園でいっぱい頑張っている分、家では力を抜いているんだろうと嬉しい反面、3人兄妹となると一人一人に割く時間も少なくなってしまい、よく一人で泣いているのを見ると申し訳ない気持ちになります。プライドも人一倍高いので、毎週末、メイクしてかわいいヘアアレンジでお出かけするのが好きになると1年生になったら、もっと色々おしゃれをするのが今から楽しみです。これまで、様々な行事を通して、心の成長や体の成長を見せてもらい、笑い泣きとてもいい保育園に入れて、卒園できる事が幸せに思っています。これからもずっとずっと、かわいいピュアな心のるなでいてね。

(るなさん・母)

## 諸聖徒ひろば ③

❖娘のりおは、生後10か月の時に諸聖徒保育園に入園しました。赤ちゃんの頃は泣き声がとても大きくて先生方を驚かせてしまっていたかもしれません。ひかり組の時から運動会やクリスマス祝会では、しっかり歌い踊っていて、たくましい子でした。ひまわり最後の運動会では、リレーでまさかのアンカーに選ばれていて大丈夫なの?!と聞くと「練習では一度も勝ったことがないけど大丈夫」と謎に自信満々で娘らしくて笑っちゃいました。本番でも、結果は負けてしまいましたが、最後まで諦めずに走り切った娘を見て涙がでました。

この1年間、弟が産まれて、園では年長になって、急にお姉ちゃんという立場になりました。いろいろな思いや葛藤があったのか…自分の気持ちをうまく言葉にして伝えることができなくて大きな目から大きな涙の粒をひたすら流すことが多かったです。ですが、最近は時間がかかっても自分の気持ちをちゃんと伝えることができるようになっていて、すごく成長を感じています。

小さいうちから大変な環境の時もありましたが、どんな時も人に優しく、よく笑い、いつも元気な子でママがずっとパワーをもらっています。きっと園でもお友だちや先生方に元気パワーを分けていたのかなと思います。小学校では、ほとんどの友だちと離れるので「寂しい」、新しいお友だちがくれるのか「心配」と話していますが、りおちゃんの明るさと優しさでたくさんお友だちができるはず!6年間「諸聖徒保育園で過ごした思い出は大きな財産になると思います。ありがとうございました。



(りおさん・母)

❖はるまが諸聖徒保育園に入園したのが昨日の事のように感じるほど、あつという間な6年間でした。息子は、我が家の末っ子で私自身3人目だったので一番甘々に子育てしてしまい、我が家で一番のがーじゅーボーイに成長して「大丈夫かな」と気になっていましたが、園の面談等では「はるまはしっかり者で、いつも助かってるよ」と言われ、家と外では違うのね…と一人納得していました。ひまわり組に進級してからは、日々の成長が目まぐるしく、私が忘れん坊なので何か持っていないといけない連絡があると、耳にタコができそうなくらい「〇〇までに〜持っていくんだよ、忘れそうだから〇日には持ってきていいって」と言われています。一番びっくりしたのは「〇〇組の〜がとても可愛いから、連れて帰りたいくらい可愛い」と言ったことです。はるまは今まで、自分より年下の子へどう対応したらいいか分からない感じだったのですが、いつの間にかこういう心も育っていたんだなと成長を感じました。

3月には卒園。私も10年通った保育園と一緒に卒園です。長男があい組の頃は、子育てに悩み、面談で号泣したこともありましたが。諸聖徒保育園の先生達は、いつでも親身になって話を聞いてくれて、本当に感謝しかありません。3人の息子たちの子育ては色々なことがありましたが、私もこの園で親として成長した10年でした。愛情たっぷりに保育をして下さり本当にありがとうございました。子ども達は、園での記憶や思い出を大きくなると共に忘れていってしまうかもしれませんが、大切にされ過ごしたことは心の奥に残り成長してくれると思います。私も子ども達も諸聖徒保育園が大好きです!



(はるまさん・母)

❖あい組から入園して早5年の月日が経ち、入園当初から人見知り朝は先生に抱っこでお願いし、泣き声が玄関まで聞こえるくらいの大泣きそのまま保育園を後にし、職場に向かう車で涙をこらえていた頃が懐かしく思います。つぼみ組になった頃、「お友だちと早く遊びたいから〜」と笑顔で手を引っ張り登園する姿が嬉しくて今度はママの方が泣いてしまいました。コロナ禍でイベント等が縮小される中でも工夫して多くのイベントを開催して下さり娘の成長を感じることができ感謝しています。ひまわり組最後の運動会では、お友だちが背中を押してくれたおかげで最後までエイサーに参加できたり、リレーでは堂々と走り切りバトンを渡す姿に感動しました。お友達のサポートや先生の日々の丁寧な接し方のおかげだと思います。いつもお迎えの時には、先生との子どもの話以外の何気ない会話も楽しみの一つで子育ての原動力にもなっていました。卒園式へのカウントダウンで寂しい気持ちもありますがたくさんの愛情を胸に一年生になっても一緒に頑張っていきます!

お友達、先生方、保護者の皆さまありがとうございました。(りこさん・母)